

ゆうゆう館協働事業実施団体受託者候補者の選定結果について

令和7年度末をもって協定締結期間が満了となる2館のゆうゆう館（高円寺北、今川）の協働事業実施団体受託者候補者を公募型プロポーザル方式により募集したところ、2団体から応募がありました。

これらの団体について、杉並区プロポーザル選定委員会条例に基づいて設置した杉並区ゆうゆう館協働事業実施団体受託者候補者選定委員会（以下「選定委員会」という。）から、以下のとおり選定結果の報告を受け、当該団体を受託者候補者として協定締結に向けた具体的な協議を進めることとしたので、報告します。

1 各ゆうゆう館の選定団体

館 名	団体名	代表者	所在地	現在運営中の ゆうゆう館
ゆうゆう 高円寺北館	社会福祉法人 奉優会	理事長 香取 寛	世田谷区駒沢 1 - 4 - 15 真井ビル	高円寺北館 (H20. 4~)
ゆうゆう 今川館	特定非営利活動法人 竹箒の会	理事長 川井 誠也	文京区西片 2 - 4 - 34	今川館 (H29. 4~) 高円寺南館 (H21. 4~) 高井戸西 (H18. 4~)

2 選定経過等

選定委員会において、募集要項及び審査基準を定め、第一次審査（書類審査）を行い、配点合計に対する評価点の合計がいずれも6割以上の2団体に対し、第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング審査）を実施した。その結果、別紙1～3のとおり、第一次審査及び第二次審査の配点合計に対する評価点の合計が6割以上で、評価点が高い団体から順に、当該団体の希望に応じて、各館の実施団体候補者を選定した。

＜選定経過＞

令和7年	7月7日	選定委員会設置
	7月24日	公募（応募団体向けに説明会を実施）
	～8月25日	
	10月2日	第一次審査（書類審査）
	10月23日	第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング審査）、 協働事業実施団体受託者候補者選定

＜選定委員＞

職 名 等	氏 名
東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長	鈴木 宏幸（会長）
聖学院大学 心理福祉学部心理福祉学科 准教授	長谷部 雅美
明治大学 経営学部非常勤講師	藤木 千草
保健福祉部 高齢者担当部長	徳嵩 淳一
区民生活部 地域施設担当課長	近藤 伸吾

### 3 その他

- 協働事業実施団体は、協働事業に加えて、別途締結する委託契約に基づき受付案内業務及び施設清掃業務を実施する。
- 協働事業の実施に係る協定締結期間は、令和 8 年度から 10 年度までの 3 年間とし、当該期間が満了となる年度に区が行うゆうゆう館協働事業実施団体評価委員会による評価において更新可となった場合は、協定締結期間を 3 年間更新（最長 9 年間）することができる。

### 4 今後のスケジュール（予定）

令和 7 年 11 月 協定締結に向けた協議  
令和 8 年 4 月 協定を締結の上、協働事業等を開始

## 審査結果

区分	評価項目		配点	各団体の評価点数（※）	
				団体A	団体B
第一次審査（書類審査）	団体の適格性	①団体の事業実績	4点	4.0	3.4
		②経営状況	4点	3.8	3.6
		③組織体制	4点	4.0	3.2
		④環境配慮行動	4点	3.8	3.0
	企画提案の妥当性	⑤ゆうゆう館の意義等	4点	3.6	3.4
		⑥業務等の運営体制	4点	3.6	3.2
		⑦受付案内等業務の考え方	4点	3.8	3.6
		⑧施設利用者への対応	4点	3.8	3.2
		⑨協働事業の意義等	4点	3.6	3.2
		⑩協働事業の提案内容	8点	6.4	6.0
		⑪利用拡大の工夫	4点	2.6	2.8
		⑫地域連携	4点	3.8	3.2
		⑬受託施設の希望理由等	4点	4.0	3.6
		⑭経費見積り	4点	3.4	3.0
	⑮区内事業者への加点	4点	2.0	2.0	
第一次審査合計		64点	56.2	50.4	
（評価点／配点合計）			87.8%	78.8%	
（プレゼンテーション・ヒアリング）第二次審査	企画提案の妥当性	⑤ゆうゆう館の意義等	8点	6.8	7.2
		⑥業務等の運営体制	8点	6.8	7.6
		⑦受付案内等業務の考え方	8点	6.8	7.2
		⑨協働事業の意義等	12点	10.2	11.4
		⑩協働事業の提案内容	12点	11.4	10.2
		⑪利用拡大の工夫	4点	3.2	2.8
		⑫地域連携	8点	6.8	6.0
	総合評価		12点	10.2	10.2
	第二次審査合計		72点	62.2	62.6
第一次審査・第二次審査 総計			136点	118.4	113.0
（評価点／配点合計）			87.1%	83.1%	

（※）評価項目ごとの評価点数は各選定委員の平均点としているため、小計及び合計点数と一致しない場合がある。

## 応募団体一覧（順不同）

社会福祉法人奉優会【団体A】

特定非営利活動法人竹箒の会【団体B】

評価点内訳表【団体A】

区分	評価項目		配点	各委員の評価点数（※）					各委員 平均
				委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	
第一次審査 （書類審査）	団体の 適格性	①団体の事業実績	4点	4	4	4	4	4	4.0
		②経営状況	4点	3	4	4	4	4	3.8
		③組織体制	4点	4	4	4	4	4	4.0
		④環境配慮行動	4点	4	4	4	4	3	3.8
	企画提案の 妥当性	⑤ゆうゆう館の意義等	4点	3	4	4	4	3	3.6
		⑥業務等の運営体制	4点	4	4	4	4	2	3.6
		⑦受付案内等業務の考え方	4点	4	4	4	4	3	3.8
		⑧施設利用者への対応	4点	4	4	4	4	3	3.8
		⑨協働事業の意義等	4点	4	3	4	3	4	3.6
		⑩協働事業の提案内容	8点	8	6	8	6	4	6.4
		⑪利用拡大の工夫	4点	3	3	3	2	2	2.6
		⑫地域連携	4点	4	4	4	4	3	3.8
		⑬受託施設の希望理由等	4点	4	4	4	4	4	4.0
		⑭経費見積り	4点	4	3	3	4	3	3.4
		⑮区内事業者への加点	4点	2	2	2	2	2	2.0
第一次審査合計		64点	59	57	60	57	48	56.2	
(評価点／配点合計)			92.2%	89.1%	93.8%	89.1%	75.0%	87.8%	
（プレゼンテーション・ヒアリング） 第二次審査	企画提案の 妥当性	⑤ゆうゆう館の意義等	8点	6	8	6	8	6	6.8
		⑥業務等の運営体制	8点	6	6	8	8	6	6.8
		⑦受付案内等業務の考え方	8点	6	8	6	8	6	6.8
		⑨協働事業の意義等	12点	9	12	9	12	9	10.2
		⑩協働事業の提案内容	12点	12	9	12	12	12	11.4
		⑪利用拡大の工夫	4点	3	4	3	3	3	3.2
		⑫地域連携	8点	6	8	6	6	8	6.8
	総合評価		12点	9	9	12	12	9	10.2
	第二次審査合計		72点	57	64	62	69	59	62.2
第一次審査・第二次審査 総計			136点	116	121	122	126	107	118.4
(評価点／配点合計)			85.3%	89.0%	89.7%	92.6%	78.7%	87.1%	

評価点内訳表【団体B】

区分	評価項目		配点	各委員の評価点数（※）					各委員 平均
				委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	
第一次審査 （書類審査）	団体の 適格性	①団体の事業実績	4点	4	3	4	3	3	3.4
		②経営状況	4点	4	4	4	3	3	3.6
		③組織体制	4点	3	3	4	3	3	3.2
		④環境配慮行動	4点	3	4	3	3	2	3.0
	企画提案の 妥当性	⑤ゆうゆう館の意義等	4点	3	4	4	3	3	3.4
		⑥業務等の運営体制	4点	3	4	4	3	2	3.2
		⑦受付案内等業務の考え方	4点	4	4	4	3	3	3.6
		⑧施設利用者への対応	4点	3	4	4	3	2	3.2
		⑨協働事業の意義等	4点	3	4	4	3	2	3.2
		⑩協働事業の提案内容	8点	6	6	8	4	6	6.0
		⑪利用拡大の工夫	4点	3	3	3	2	3	2.8
		⑫地域連携	4点	4	3	4	2	3	3.2
		⑬受託施設の希望理由等	4点	4	4	4	3	3	3.6
		⑭経費見積り	4点	4	3	3	2	3	3.0
⑮区内事業者への加点		4点	2	2	2	2	2	2.0	
第一次審査合計		64点	53	55	59	42	43	50.4	
(評価点／配点合計)			82.8%	85.9%	92.2%	65.6%	67.2%	78.8%	
（プレゼンテーション・ヒアリング） 第二次審査	企画提案の 妥当性	⑤ゆうゆう館の意義等	8点	6	8	6	8	8	7.2
		⑥業務等の運営体制	8点	8	8	8	6	8	7.6
		⑦受付案内等業務の考え方	8点	6	8	6	8	8	7.2
		⑨協働事業の意義等	12点	9	12	12	12	12	11.4
		⑩協働事業の提案内容	12点	9	12	12	9	9	10.2
		⑪利用拡大の工夫	4点	3	3	3	2	3	2.8
		⑫地域連携	8点	6	6	6	6	6	6.0
	総合評価		12点	9	9	12	9	12	10.2
	第二次審査合計		72点	56	66	65	60	66	62.6
第一次審査・第二次審査 総計			136点	109	121	124	102	109	113.0
(評価点／配点合計)			80.1%	89.0%	91.2%	75.0%	80.1%	83.1%	

## 企画提案書（概要版）

## 1 応募者の名称及び代表者名

団体名 社会福祉法人 奉優会

代表者名 理事長 香取寛

## 2 業務に対する考え方

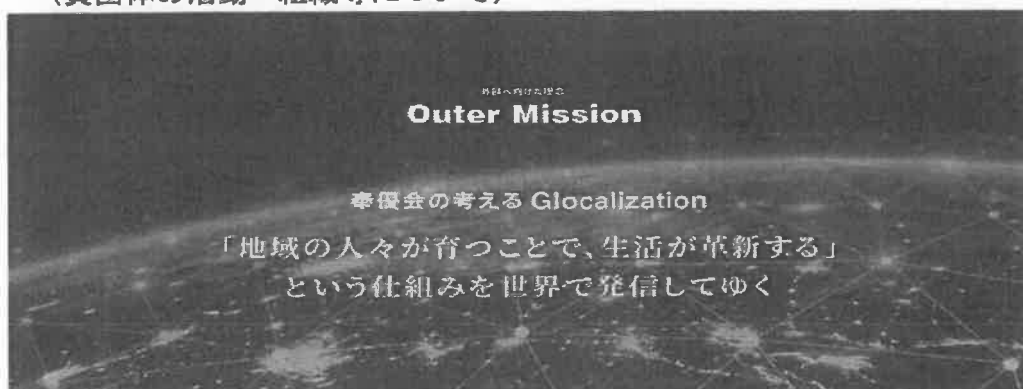
ゆうゆう館は、人と人、人と地域がつながり生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことができる、地域共生社会を目指す施設だと考えます。「生涯現役」の地域拠点として、高齢者や多世代に向けた「憩い」「健康づくり」「いきがい学び」「ふれあい交流」に繋がる場を創出します。協働事業の開催や一般和室の開放、地域連携促進やボランティア活動など、地域住民の活躍に繋がる施設運営を目指します。

また、協働事業の講師やサポートを地域団体や個人ボランティアに担っていただきます。職員が町会・商店街や地域のイベント・お祭り等に出向き協力することで、顔と顔が見える繋がりを作り、連携を強化します。

多くの区民の皆様にご利用していただけるよう、毎月1回館の広報紙を作成・発行します。また、法人ホームページに広報紙を掲載することで、自宅からでも内容を閲覧できるよう、広報活動を強化します。加えて、SNSを活用した利用案内、事業紹介、活動報告を行うことで、幅広い世代に向けた情報発信・広報活動を行います。イベント開催時には、ポスターを商店街等へ掲示依頼し、集客に努めます。

## 3 提案内容の全体像

（貴団体の活動・組織等について）



当法人は「Action by Glocalization 地球規模で考え、足元から行動する」「『地域の人々が育つことで、生活が革新する』という仕組みを世界で発信してゆく」という理念のもと、首都圏都市部を中心に高齢者向け社会福祉事業を幅広く展開している法人です。これまで新規事業や施設整備、事業継承等に積極的に取り組んでまいりましたが、それらを実現できているのは当法人の「財務基盤の安定性」「人材採用力の高さ」ゆえと認識・自己評価しております。

ゆうゆう高円寺北館の運営は、社会福祉事業本部 公共サービス事業部が行います。当事業部は、都内を中心に26カ所のゆうゆう館類似施設を運営しており、これまで着実な実績を積み重ねてまいりました。責任者については、類似施設での責任者経験を要する人物を配置し、ご利用者に安心してご利用いただけるよう、ゆうゆう館運営全体に関するマネジメント業務を行います。事業計画立案、月次報告書作成、区への提出物作成・対応を、責任をもって執り行います。今後もこれら当法人の強みを支柱とし、地域に根ざした持続可能な福祉サービスの提供に努めてまいります。

（ゆうゆう館業務について）

【受付業務について】

来館者が安心して目的通りに施設を利用できるよう、マニュアルに基づいた丁寧で分かりやすい受付対応を行います。公平・平等な対応を基本とし、定期的な接客研修（年2回）や新入職員研修における受付案内業務・個人情報保護の学習を通じて、質の高い対応を継続していきます。さらに、職員を「YUYUガイド職員」と位置付けることで、おもてなしの心を持ち、来館者の気持ちに寄り添った温かみのある案内を行い、信頼関係の構築と職員の意識向上を図ります。

【施設利用者の安全管理について】

職員が1日4回の館内巡回を行い、安全点検や来館者の見守りを実施します。設備の不具合は責任者が確認し、速やかに対応します。緊急時にはフローや連絡体制に基づき、迅速に対応できるよう研修やリスクマネジメント会議（月1回）を行います。夏季には「杉並区涼み処（クーリングシェルター）」を開設し、冷房や飲料の提供で熱中症予防に努めます。感染症対策としては、衛生管理会議を設置し、マニュアルに基づいた研修を定期的の実施します。また、個人情報保護については「杉並区情報セキュリティ基本方針」に沿って厳格に管理し、館長を責任者として体制を整えています。

【協働事業の実施について】

介護予防・健康づくり・学びの機会を地域や関係団体と協働で提供し、孤立防止や生きがいづくりにつなげます。多世代交流の場づくりにより、相互理解や支え合いを促進し、防災や見守りなど地域の互助の基盤を強化します。これらを行政と地域が協働して運営することは、持続可能で温かな地域社会を実現する上で不可欠であると考えています。

（受託希望施設について）

受託希望施設は「ゆうゆう高円寺北館」です。

ゆうゆう高円寺北館は、地域や利用者との距離が近く大変温かみがある施設です。近隣には大きな商店街があり人情味があふれる大変魅力的な場所に立地しています。当法人が受託させていただくことで、館や地域の特性を最大限に活かした運営を実現し、地域住民に大きな貢献ができると考えます。また、当法人が運営する「デイホーム高円寺北ふれあいの家」と併設しており、元気高齢者と要支援・介護認定を受けた高齢者同士の交流や多世代交流、ボランティア活動者の活躍の場などの連携が大変取りやすい環境を活かした運営を行います。

#### 4 提案によって期待される効果

ゆうゆう高円寺北館は、当法人での運営実績があり、ご利用者や地域から高く評価していただいております。また、併設する「デイホーム高円寺北ふれあいの家」とは頻繁に連携しており、区民の活躍の場拡大・利用者満足度の向上に繋がっております。

これまでの運営で築いてきた地域住民・利用者との強い信頼関係を活かし、サービスの質と安定性を維持・向上させてまいります。加えて、施設の特徴や利用者ニーズを深く理解している立場として、地域の魅力や活力を高めることを実現できると考えています。

取組内容	成果(数値・実績)	効果(変化・波及)
就労支援事業	就労の機会創出	高齢者が地域で役割を持ち続ける環境づくり
団体数増加	令和9年度までに3団体新設	地域の仲間づくり、居場所の確保
介護予防の充実	冊子配布数2,000部、参加者500人	健康寿命の延伸、介護予防意識の浸透

## 企画提案書（概要版）

### 1 応募者の名称及び代表者名

特定非営利活動法人 竹箒の会  
理事長 川井 誠也

### 2 業務に対する考え方

設立当初以来の得意分野の高齢者向けIT事業は多くの行政から高い評価を得て活動しています。

高齢者が経験に基づいた力を発揮、社会に役立てる活動をとの信念で活動するほか、当会会員にも定年を設けず、それぞれの力にふさわしい活動を提供しています。

会員の活動の基本は無償でなく、有償とし、また収支はNP0の精神に照らし利益を出すのが目的ではありませんが、今後の活動拡大のためにも、健全性を確保する努力をしています。

### 3 提案内容の全体像

（貴団体の活動・組織等について、ゆうゆう館業務について、受託希望施設について）

当会の活動趣旨に照らし、今川館スタッフのみならず、当会の活動メンバー全員が高齢者の生きがい・健康を守り、孤立を防ぐ為の公共施設と認識し。ゆうゆう館の存在が広く認知されるよう、バラエティー豊かな協働事業を展開し、互いのコミュニケーション交流により、認知機能の向上が図れる魅力ある公共施設として運営したいと考えます。

受託希望館は現在受託しているゆうゆう今川館で、今まで培ったお客様との信頼関係をさらに充実させて¥行きたいと考えています。

### 4 提案によって期待される効果

ゆうゆう館に直接かかわる住民の方々との交流によるコミュニケーション交流により、認知機能の向上が図れることを中心としつつ、地域のさまざまな施設（学校、介護施設、ケア24、ほか地域団体）との連携を重視して、地域全体を見守る体制の一翼を担いたい、担えると考えています。